

1 会議名	令和6年度第2回愛南町男女共同参画審議会	
2 議題	(1) 令和5年度男女共同参画推進計画について (2) 諮問事項について ①女性の政治参加への社会的障壁の調査及び情報収集等の実施について ②政治分野における男女共同参画を推進するために必要な施策について (3) その他	
3 開催日時	令和6年11月18日(月)13時30分から14時50分まで	
4 開催場所	愛南町役場 3階 大会議室	
5 傍聴者数	2人	
出席者		
6 委員氏名	桐木 陽子、仙波 純子、徳田 真、河野 礼奈、松岡 紗希、中村 真大、山口 ゆかり、門屋 あけみ、下田 雅一 (欠席者)水谷 辰彦	
7 担当所属	所属名	企画財政課
	担当職員 (職・氏名)	政策推進室 室長 桑原 真也 政策推進室 係長 酒井 久美
8 その他の出席職員	所属名	
	出席職員 (職・氏名)	
	所属名	
	出席職員 (職・氏名)	
議事内容(次ページから)		

発言者	発言内容
事務局 酒井	定刻になりましたので、ただ今から、令和年6度第2回愛南町男女共同参画審議会を開催します。開会挨拶を桐木会長、お願いします。
桐木会長	(開会挨拶) まず、議事の1、令和5年度男女共同参画推進計画について、前回の審議会で回答が保留になっていた点がありましたので、事務局は説明をお願いします。
桑原室長	(農業分野における女性の参画及び12月1日開催の愛南町総合防災訓練について説明)
仙波副会長	男女共同参画における防災分野の取組は、私どもも、強力に推進しているところです。今回このように、防災訓練で組み込んでいただけたことは、とても有り難いです。
桐木会長	推進計画について、御質問などありませんか。
各委員	(質問無し)
桐木会長	ないようですので、愛南町のホームページに、進捗状況を公開していただくということでよろしいでしょうか。
各委員	(異議無し)
桐木会長	<p>それでは、議事の2に移ります。</p> <p>先ほど町長から諮問を受けました。皆様のお手元にもコピーを配っています。</p> <p>諮問事項は、「1 女性の政治参加への社会的障壁の調査及び情報収集等の実施について」、「2 政治分野における男女共同参画を推進するために必要な施策について」ということです。</p> <p>諮問内容は、「本町の第3次愛南町男女共同参画推進計画は4年目を迎えており、目標達成に向けて総合的な取組を進めています。しかし、いまだ審議会等における女性委員の割合は、愛南町男女共同参画推進計画の目標40%に対して、28.9%となっており、更なる取組が課題となっています。</p> <p>また、政治分野における男女共同参画の推進に関する法律においては、男女の候補者の数をできる限り均等とすることを目指すこととしており、令和6年6月の定例議会においても実態調査や女性議会等の実施について要望があったところです。</p> <p>そこで上記の2点について審議会の意見を求めます。」という諮問を受けましたので、皆様に御意見をお伺いしたいと思い</p>

発言者	発言内容
事務局 酒井	<p>まず。 本日の資料について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>本日の資料について説明します。 まず、「政治への参画に当たっての支障や課題に関する実態調査」について説明します。地方自治体とは別に、国も障壁に関する調査の義務付けがされておりまして、今、全国の地方自治体の議員の方に向けて、実態調査のアンケートをしているとのことでしたので、参考資料として用意しました。</p> <p>また、もう一つ、「地方の政治分野における男女共同参画の取組」という冊子ですが、こちらは国が調査研究したもので、全国の自治体で女性議員を増やすためにこういった取組をしているのかというものを、まとめた冊子になっています。</p> <p>今日の審議会の、参考にしていただけたらと思います。</p>
桐木会長	<p>前回の自由討議の中で皆様から、これに関連した御意見を頂戴しましたが、改めて諮問となりましたので、一つずつ審議していきます。</p> <p>諮問事項1の、女性の政治参加への社会的障壁の調査及び情報収集等の実施について、アンケートのひな型も用意していただきましたが、御意見ありませんか。</p>
徳田委員	<p>このアンケートは、議員向けですか。</p>
事務局 酒井	<p>住民へ向けたものではなく、全国の地方議会の議員に向けたアンケートです。</p>
徳田委員	<p>事前に資料に目を通しましたが、女性がいきなり議員を目指そうというのは、ハードルが高いと思います。町民にアンケートを取るのであれば、政治に参加しようとする意欲を高めるような、興味を持つようなアンケートの方が良いのではないのでしょうか。</p> <p>今、愛南町がどのような政策をしているのか、政治にもっと気軽に声を上げられるようにするにはどうしたら良いのか等を尋ねるアンケートが良いのではないかと考えています。</p>
桐木会長	<p>第1回審議会でも、「男女共同参画の条例ができたことも、まだ十分に周知できていないのではないか。」という意見が出ましたので、その辺りを踏まえた実態調査の方が良いのではないかという意見です。</p>
松岡委員	<p>私が調べた中で、政治分野に女性が少ない理由の第3位に挙げられているのが、「手本となる女性議員が少ない」ということ</p>

発言者	発言内容
中村委員	<p>でした。次いで、「女性が家庭で背負う役割が大きい」ということがありました。その辺を改善して、基本となるものを築いていかないと、若い世代の政治に対する考え方は浅いままだと思います。</p> <p>町は、どういうものを目指しているのでしょうか。最終的にどういう形で女性が政治参加できるようにしたいのか、「こうしたい」というものを示す必要があると思います。女性の議員を増やすために何をしたら良いのか、ということですが、それよりも、両委員が言われたように、女性に限らず若い世代の人たちに、政治に対して興味を持ってもらうような啓発活動であったり、子育ての環境をもっと整えたりしながらでないと、この問題に取り組むのは難しいと思います。</p>
桐木会長	<p>どういふ愛南町が理想であるのかということ、まず示す必要があるのではないかとありますが、この辺りはいかがですか。</p>
桑原室長	<p>おっしゃるとおりだと思います。</p> <p>愛南町の男女共同参画は、スタートしたばかりで、その辺りのレベルが足りていないと感じています。</p> <p>まずは、女性の家庭での立場や男女格差を解消しないことには、何も始まらないと思っています。さらに、まだ先の話にはなるかもしれませんが、リーダーになる女性の育成も大切だと思っています。まずは、審議会等の女性の率を少しでも上げていきたいのですが、参加する機会がなかなか与えられてないのかなと思います。</p> <p>最終目標を示すというよりも、最終目標の前の礎をこれから築きたいと考えます。</p>
桐木会長	<p>行政でも数値目標を設定するようになりましたが、数字よりも、本当に町の人たちが幸せに、積極的に、主体的にまちづくりに関わっているかどうかということが重要ですので、丁寧に進めながら前を向いていただきたいと思います。家庭、地域、職場、教育、全てにおいて、男女共同参画を進めるということが必要ではないかと思ひます。</p> <p>「女性議員をいきなり増やすということではなく、まちづくりに積極的に意見を述べたり、責任を持って取り組むことができているのかを尋ねたり、男女共同参画推進条例を啓発するような内容も含めた調査の方が良いのでは」という意見についてはどう思われますか。</p>
中村委員	<p>一般の町民の方にアンケートを実施するには、もう少し柔ら</p>

発言者	発言内容
下田委員	<p>かい表現にするなど工夫する必要があると思います。</p> <p>事前復興計画の委員をさせてもらっています。その委員の皆さんの意見を聞いて感じたことは、やはり男性目線での意見が多いということです。女性の方が、細かいところまで気が付くのではないかと思うので、防災分野のような参加しやすいところから女性を増やして、そこから広げていって、女性がもっと活躍できるような町にしていけたら良いのではないかなと思います。</p>
桐木会長	<p>あらゆる分野で女性が発言しやすい雰囲気になっているのかといったことも盛り込むということですね。この辺りいかがでしょうか。</p>
河野委員	<p>私も、町民の方にアンケートを出すのであれば、もう少し、ハードルを下げて、答えやすい問いにすると良いと思います。</p> <p>まずは、町で、ロールモデルになる人たちに話を聞くと、活躍に至った背景等が見えてくるのではないかと思うので、それらも参考にしながら、アンケートをするのが良いのではないかと思います。</p>
桐木委員長	<p>アンケート調査をしながら、リーダー像のようなものを勉強していくとのこと。この辺りは、男女共同参画センターがリーダー養成講座を開催しています。副会長、何かアイデアはありますか。</p>
仙波副会長	<p>私どもの男女共同参画センターでも、県内でいろいろな分野で活躍されている、いろいろなライフコースをたどっていらっしゃる方と、フランクに語り合う場を設けています。</p> <p>そこで、意見交換しながら、多様な生き方を目の当たりにし、質問をぶつけて、自分に適した生き方を考える機会を持ってもらえたら良いなと考えています。地域で活躍する女性を増やしていく、その広がりを持たせるという意味で、いろいろなタイプのリーダーの方と接する機会を持つということは、効果的と感じます。</p>
桐木会長	<p>そういう講座を是非オンライン、あるいは講師を派遣していただいて、愛南町で広めていくということは可能でしょうか。</p>
仙波副会長	<p>その辺りもお手伝いできたらと思います。</p>
桐木会長	<p>ありがとうございます。門屋委員いかがでしょうか。</p>

発言者	発言内容
門屋委員	<p>情報収集は、何らかの形で必要だとは思いますが、政治そのものが、遠く、身近なところのないような気がします。もう少し簡単などころからした方が良いと思います。</p>
桐木会長	<p>議員になることだけが政治参加ではないので、まずは地域の中で、あらゆる方々が意見を述べているのか、特に女性がしっかりと自分の考えを的確に述べているのかを聞いて、最終的には議員になる場合にどういうことが障壁になるかということも聞けるような、そういうアンケートを、次年度実施するというところでよろしいでしょうか。</p>
桑原室長	<p>広く全般に、まずは自分の身の回りの男女格差等から、スタートするようなアンケートを実施するという意見をいただきましたが、次の愛南町男女共同参画推進計画を策定する際は、1,000人に対してアンケート調査を実施する予定です。そのアンケートで、見えてきた課題を解消するための計画でもあります。令和9年度に改定ですので、再来年度の令和8年度にはアンケートを実施する予定ですが、来年度中にアンケートを実施し、それを再来年度の改定に生かすという方法もあると思っています。</p> <p>また、今年度は、2月に桐木先生に講演をお願いしていて、そこでグループワークをする予定です。限定された方にはなりますが、参加していただいた方から意見を聞くということもできると思います。</p>
桐木会長	<p>計画策定時には大々的なアンケートを実施するというのですが、社会情勢が刻々と変わる中で、住民の意識を拾い上げ政策に落とし込むことは、とても大切だと思います。</p> <p>Googleフォームや、SNSを活用して、なるべく予算が掛からないような方法を考えたかどうかと思うのですが、皆さんいかがでしょうか。ちょうど予算編成の時期ですので、アンケートを実施するならば、予算化していただきたいと思っています。</p> <p>今年度はグループワークを実施しますので、そこに参加された方の、今の状況を把握し、令和8年度まで待つのではなく、来年度に、女性たちが意思決定の場にしっかりと参画できているのかというような状況を把握できるようなアンケートを実施する方向でよろしいでしょうか。</p>
門屋委員	<p>意識の比較をするために、2回くらいアンケートをしても良いのではないのでしょうか。</p>
仙波副会長	<p>まちづくりに対する参加意欲であったり、男女共同参画につ</p>

発言者	発言内容
	<p>いての意識であったり、いろいろなものが絡んだ調査になってくると思います。政治活動のことだけ聞くのではなくて、男女参画などの経験を聞きながらの調査になると思うので、それを分けてやるのか、1回でやるのか、例えば、令和8年度予定のものを令和7年度にするということも一つかもしれないです。このアンケートの設問を作るのは、背景と、意識と行動等を分析する必要があるなので、結構難しいと思います。</p> <p>なので、来年度に調査をすれば、それを基に令和8年度に計画改定ができるのかなとも思いますし、門屋委員さんが言われたように、複数回アンケートを実施して、その変化も見たいというのも一つかと思えます。いろいろな方法があると思いますので、検討が必要だと思えます。</p> <p>門屋委員が言われた、複数回実施してみてもどうかという点に関しては、この計画は5年に1回更新をしますので、前回のアンケートと同じ設問をして、前回から意識が改善されたか分かるようになっていきます。ですから、令和7年度に調査した結果については、またそれから数年後に同じような調査を実施することになると思います。</p> <p>それと、仙波副会長が言われた部分については、令和7年度にアンケートを実施して、その結果を令和9年度からの改定に生かすこともできると思います。政治分野の話もありますので、新たな質問項目もこれから考えていくことになると思います。</p>
桑原室長	<p>門屋委員が言われた、複数回実施してみてもどうかという点に関しては、この計画は5年に1回更新をしますので、前回のアンケートと同じ設問をして、前回から意識が改善されたか分かるようになっていきます。ですから、令和7年度に調査した結果については、またそれから数年後に同じような調査を実施することになると思います。</p>
桐木会長	<p>1,000人規模のアンケートをベースにしていくということでしょうか。</p>
桑原室長	<p>それぐらいの方々に、アンケートを実施するという形になるかと思えます。</p>
桐木会長	<p>1,000人規模のアンケートを早めに実施して、そこに政治参画のことも混ぜ込んだ方が良くはないかという御意見ですね。では、来年度はどのようにすればいいのでしょうか。</p>
仙波副会長	<p>令和8年度中に、次の計画を決定するということですね。そうすると、令和7年度前半に質問項目を考える必要があると思います。これは、結構重要な仕事だと思います。令和7年度中にアンケート調査を実施して、データを分析して、令和8年度にそれを参考にしながら、どういう対策を取っていくのかを検討していく、それが次の計画になると思います。</p>
桑原室長	<p>アンケート項目については、委員の皆様からも案がありましたら、教えていただきたいと思えます。来年度の審議会の中で</p>

発言者	発言内容
桐木会長	<p>も、アンケートの案について御意見をお伺いする予定です。</p> <p>また、女性に限らず、ランダムに男女半数ずつ、いろいろな年齢層の方にアンケートを実施して、年齢層ごとの特徴も分析したいと思います。</p> <p>是非、町政に関わる一つ的手段ですので、若い人たちにも関心を持ってもらって、回答を呼び掛けるということも、頑張ってください。</p> <p>それでは1番目の議題の実態調査については、「政治分野にかかわらず、あらゆる分野において、愛南町で意思決定に参加することができるか」というようなこと等を盛り込み、愛南町の課題は何かということ洗い出し、その課題に真摯に向き合うことができるアンケート調査を実施する。実施の時期は、令和8年の計画改定のために予定されていたアンケートを前倒して、令和7年度に実施する。規模は1,000人規模で、質問項目については、委員の皆様にご意見を聞きながら精査をする。また、これから男女共同参画セミナー等いろいろなイベントがあるので、そういった場で町民の皆様の意見をくみ取って、この審議会にフィードバックする。」ということでもまとめさせていただきます。委員の皆様には、その都度、事務局に、「こういう意見がありました。」という情報をお寄せいただけたらと思いますので御協力をお願いします。</p> <p>それでは、2番目の議事に移ります。「政治分野における男女共同参画を推進するための必要な施策について」ということですが、諮問の内容にもあったように、女性議会等の実施についてと、具体的な項目も挙げられていますが、この辺りについて御意向を伺いたいと思います。</p>
徳田委員	<p>令和8年度末に、次のビジョンが明確になるということですね。計画を進めていくときには、組織の明確なビジョン、ゴールがあって、そこまでのロードマップがあるのではないかと思います。先ほどのアンケートもロードマップの内の一つではないかと思います。</p> <p>来年度は、お金を掛けずに、子育てで忙しく、そういった会になかなか来れない方が、ZOOMで参加して、家庭にしながら参加、視聴できる環境を整備するなど、できることから手を付けたら良いと思います。</p>
桐木会長	<p>まず次年度は、学ぶ環境の整備をしてはどうか、ということで良いでしょうか。</p>
徳田委員	<p>今の政策に対して思っていること、それから、その政策をより良く改善して続けていくための考えを聞く機会を設けるため</p>

発言者	発言内容
	に、オンライン等で学習できる機会があれば良いと思います。ロードマップのゴールから逆算して、できることから始めれば良いと思います。
桐木会長	I C Tを活用しながら、学習の場を広げるということですね。
桑原室長	男女共同参画だけに限らず、意見を聞く、言う場があればということでしょうか。
桐木会長	それは、既にされていると思うので、男女共同参画、子育て、介護などに特化して、まだ知られていない愛南町の施策みたいなことについて意見を交換できたら良いと思います。既に、懇談会のような町政の広報はされているのですよね。
桑原室長	町政の懇談会については、過去に実施したことはありますが、子育てや、介護で忙しい方に対して、直接出向かずとも参加できるような配慮を考えていく必要があるのかもしれない。
桐木会長	徳田委員が言われたことは、男女共同参画のことに留まらないので、そういったことは町全体で考えていく必要があるかもしれません。先ほど、ロードマップという言葉が出ましたが、愛南町の男女共同参画推進計画の中にロードマップは示されているのですよね。
桑原室長	計画の中に、ロードマップの終着点は示されています。現在の段階は、2月に開催される学習会が始まりになると思います。来年度は、参加できなくても、もっと気軽に意見が言える場を模索する必要があると感じています。
桐木会長	徳田委員が言われたように、Z O O Mを契約して配信したり、C A T Vと契約を結んでチャンネルを1つ増やしてもらうということは、可能性としていかがでしょうか。
桑原室長	すぐさまは難しいと思います。まずは、男女共同参画に対する意識を広げる活動をしたいと思います。
山口委員	今回、この審議会の委員をさせてもらって、女性の政治参加が少ないという問題があるということを知ったばかりです。先ほど松岡委員が言われたように、実際今の女性議員たちがどういう活動をして、家庭にどういう影響があるのかが、私たちは全然分からないので、議員をやってみようという気持ちにはなれないのではないかと思います。そういったところを知る機会があれば、考えやすくなるのではないかと思います。

発言者	発言内容
桐木会長	<p>いろいろなやり方があると思いますが、相互に理解し合うことは必要かもしれませんね。議員の方が、どういう活動をされているかということすら知らない人がいるかもしれませんね。</p>
桑原室長	<p>愛南町でも、議会の報告会はありますし、議会本会議も、ケーブルテレビで放送されますし、インターネットで視聴することもできます。そういった取組をしているということについて、まだまだ周知が足りない部分があるのかもしれない。町の活動等をもっと広く知ってもらう機会を設けることが、必要になってくると思います。</p>
中村委員	<p>男女共同参画は、すごく難しく聞こえるので、住民が興味を持てるよう、表現を柔らかくして、ホームページ等を工夫すると、周知できるのかなと思います。</p>
桐木会長	<p>広報を分かりやすくということですね。</p>
桑原室長	<p>担当といろいろ研究したいと思います。</p>
門屋委員	<p>自分たちが出した意見が、どういう形で町政に反映されているのかが見えると、もっと意見も出てくると思います。また、政治はやはり遠くて、議会を見ようと思っても見逃してしまいます。どのような議員がいて、どんな考えをもっているのか、一覧表みたいなものがあれば良いと思います。</p>
桑原室長	<p>御意見は、担当課に報告させていただきます。</p>
桐木会長	<p>議会がどのように運営されているかということが、あまり町民に知れ渡っていないようです。もう少し、お互いに丁寧に進めていけると良いですね。特に男女共同参画というような、耳なじみの悪いようなことは、具体的なイメージも含めて、皆様にもう少し周知していくことが必要だということは、御意見から伺い知ることができました。より分かりやすく皆様にお伝えすることと、相互の交流がもっと円滑にできるようにお願いしたいと思います。</p>
桑原室長	<p>議会に対する住民の理解も薄いという御意見がある中で、女性議会をすぐに開催した方が良いのか、皆さんの意見をお伺いしたいです。</p>
桐木会長	<p>分からないからこそ、やってみるという意見等ないでしょうか。</p>

発言者	発言内容
徳田委員	<p>座談会のようなことから始めてはいかがでしょうか。裾野を広げ、分かりやすい説明や、聞きたいことを聞ける場を作ることから始めれば良いと思います。</p>
河野委員	<p>議会は、難しいという印象を持っている人が多いと思うので、理解よりも前に、議会についてどういう印象を持っているかなど聞けるような、講演会とか雰囲気づくりから始めたら良いのではないかと思います。</p>
下田委員	<p>料理教室のようなところで、意見を言い合えるような場があれば良いかもしれません。食べながらだと活発な意見が飛び交うと思います。</p>
桐木会長	<p>いろいろと工夫をしながら、ハードルを下げて、皆さんが参加しやすいようなイベントで、意見を交わすことから始めてみてはどうかということですね。</p>
松岡委員	<p>私は、議会中継などを結構見ます。印象としては、愛南町には女性議員が2名いらっしゃいますが、議会中も結構、熱いと思います。そういうイメージを抱くと、私にできるのかなとか思ってしまう。もっと意見を言い合える感じなら良いのですが、言い方が悪いかもしれませんが、喧嘩腰のような印象を持ちます。意見を言い合える場所を選ぶ、ということは大事だと思います。</p>
門屋委員	<p>今日の資料の中に、カフェのようなことをされている自治体があって良いと思いました。また、小学校の頃から模擬投票をして、家でも政治の話をするような、子供の頃から政治に興味を持てるような取組をするのも、大切な視点かなと思います。</p>
桐木会長	<p>では、女性議会を先にするのではなくて、住民が町政に対して、気軽に話をできるような雰囲気から作っていくということではよろしいでしょうか。</p>
仙波副会長	<p>私も同じ意見です。まず、多くの方が参加しやすい雰囲気を作るということで、カフェや料理教室等、できるだけフランクな発言しやすい場があると良いと思います。提言しても、手応えがあるかどうか大切なので、できればそこに行政の方も来ていただくと良いですね。町の事情や、考え方もお伝えできますし、和やかな相互理解もでき、町への関心も高まることで、そういった会への参加者も広がっていくと思います。</p>

発言者	発言内容
桐木会長	<p>言ったら返してくれるというのが、参加した方の手応えになると思っていますので、フィードバックがあると、参加しようという気も高まると思っています。</p> <p>2月2日にセミナーがあります。今までグループワークを取り入れたことがないということですので、どんな話合いになるか分かりませんが、そこで出た意見は、持ち帰って、次年度の政策に生かしていただけたらと思っています。</p> <p>それでは、答申の進め方ですが、ただ今の会で出た意見を基に答申案を事務局に作成していただきたいと思えます。方向性は、本日、共有することができましたので、細かいところは、私と副会長と事務局に一任していただけたらと思えますがよろしいでしょうか。答申は12月中旬をめどに取りまとめさせていただきます。</p> <p>それでは、これで本日の議事を終わります。</p>